

# NEC マイクロコンピュータ技術情報

μ PD789479, μ PD789489 サブシリーズ用 エミュレーション・ボード (IE-789488-NS-EM1)  バージョン・アップのお知らせ		発行番号	SBG-TT-0191号	1/1
		発行日	2002年 8月 29日	
		発行部門	日本電気株式会社 NECエレクトロニクスデバイス システムLSIソリューション技術本部 マイクロコンピュータグループ	
文書分類	使用制限事項	バージョン・アップ	ドキュメント訂正	その他
関連資料	IE-789488-NS-EM1 ユーザーズ・マニュアル 資料番号：SUD-TT-0218-1 (第1版)			

CP(K),0

## 1. 対象製品

製品	概要	管理記号 <sup>注1</sup>
IE-789488-NS-EM1	μ PD789479, μ PD789489 サブシリーズ用エミュレーション・ボード	A, B, C, D

管理記号 E はバージョン・アップの必要はありません。

## 2. バージョン・アップ内容

以下の不具合内容が修正(仕様が追加)されます。また、バージョン・アップ後、管理記号Eとなります。

(1) μ PD789479, μ PD78F9479, μ PD789489, μ PD78F9489 のサポート追加。

管理記号 A, B, C, D

## 3. バージョン・アップ受付開始時期

平成 14年 10月 11日から開始いたします。

なお、本件につきましては無償バージョン・アップを行いますが、無償期間をバージョン・アップ開始日から1年間とさせて頂きたくお願い申し上げます。なお、無償期間が過ぎますと有償バージョン・アップとなりますので、なるべく無償期間内にバージョン・アップされることを推奨します。

注1) 管理記号とは、ご購入時(バージョン・アップを行っていない)は、本体に添付されている保証書に記載されている10桁のシリアル・ナンバーの左から2桁目の記号です。バージョン・アップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されている V - U P L E V E L X の X が管理記号になります。

以上

## IE-789488-NS-EM1 使用上の注意

## 1. 製品バージョン

製品名:IE-789488-NS-EM1

管理記号	備考
A	
B	
C	
D	
E	

注) 管理記号は、E から始まる 10 桁の製造番号(シリアル No.)の左から 2 桁目に表示されています。  
バージョン・アップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されている **V-UP LEVEL X** の **X** が管理記号になります。

## 2. 製品履歴

No.	仕様変更・追加／不具合事項	管理記号				
		A	B	C	D	E
1	μ PD78947x エミュレーション時の LCD 機能不具合	×	○	○	○	○
2	μ PD78948x エミュレーション時の A/D 機能不具合	×	×	×	○	○
3	I/O ボードのテストピンと IE-78K0S-NS-A エミュレーション・ボード固定用ステー(金具)との接触不具合	×	×	○	○	○
4	μ PD789479, μ PD78F9479, μ PD789489, μ PD78F9489 のサポート追加	—	—	—	—	○

×:該当する

○:該当しない(仕様変更に対応)

—:仕様追加前

## 3. 不具合および仕様追加事項詳細

No. 1 μ PD78947x エミュレーション時の LCD 機能不具合

【内容】 μ PD78947x の LCD 機能をエミュレーションの際に、LCDM0 レジスタ内の LIPS0 を“0”にセット(セグメント端子・コモン端子に GND レベルを出力)したとき、セグメント端子・コモン端子からの電圧が安定しません。

(次の範囲内で電圧が安定しません:  $0V \leq \text{セグメント端子・コモン端子の電圧} \leq V_{LC2}$ )

【回避策】 管理記号 B で修正済み。

No. 2 μ PD78948x エミュレーション時の A/D 機能不具合

【内容】 μ PD78948x の A/D 機能をエミュレーションの際に、3V 以下で変換が正常に動作しません。  
(次の範囲内で正常に動作しません。:  $3V \geq AVDD$ )

【回避策】 管理記号 D で修正済み。

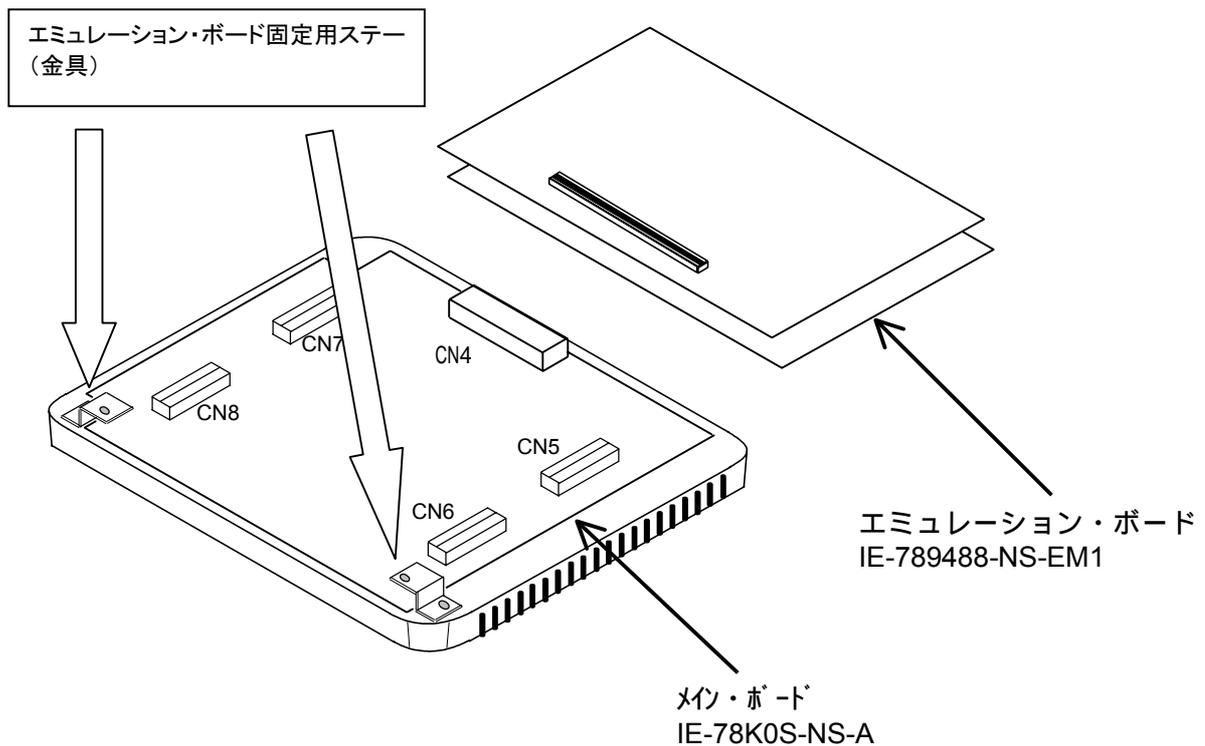
No. 3 I/OボードのテストピンとIE-78K0S-NS-A エミュレーション・ボード固定用ステー(金具)との接触不具合  
**【内 容】** IE-78K0S-NS-A 管理記号AまたはBとの接続においてIE-78K0S-NS-A のエミュレーション・ボード固定用ステー(金具)にI/Oボードのテストピン(CP8,CP38)が接触します。

**【回避策】** 管理記号 C で修正済み。

管理記号 C へバージョン・アップをされていない場合の暫定回避策は、IE-78K0S-NS-A のエミュレーション・ボード固定用ステー(金具)を取り外し接続してください。図 3-1 にIE-78K0S-NS-A のエミュレーション・ボード固定用ステー(金具)の位置を示します。

なお、取り外したIE-78K0S-NS-A のエミュレーション・ボード固定用ステー(金具)をバージョン・アップ時に加工しますので、紛失せずに保管して下さい。

図 3-1 エミュレーション・ボード固定用ステー(金具)



No. 4  $\mu$  PD789479,  $\mu$  PD78F9479,  $\mu$  PD789489,  $\mu$  PD78F9489 のサポート追加

**【内 容】** IE-789488-NS-EM1 管理記号Eより  $\mu$  PD789479,  $\mu$  PD78F9479,  $\mu$  PD789489,  $\mu$  PD78F9489 のサポートを仕様追加しました。

**【注 意】** IE-789488-NS-EM1 管理記号Eを使用する際は、必ず DF789488(2002/8/22 以降にリリース)のデバイス・ファイルをご使用ください。

#### 4. その他注意事項

- ・ **サブ・システム・クロック4通倍選択時のエミュレーション仕様(1)**

ユーザが実装するクロックの使用を設定した際、4通倍回路は、取り付けたサブ・システム・クロックを4通倍しません。エミュレーション・ボードに実装しているクロック(X3:4.194304MHz)を使用した固定の131.072KHz(4.194304MHz/32)が生成された4通倍クロックの選択になります。また、サブ・システム・クロックは、固定の131.072KHzを4分周して32.768KHzの生成になります。

- ・ **サブ・システム・クロック4通倍選択時のエミュレーション仕様(2)**

HALTで4通倍サブ・システム・クロックを停止させることができません。そのためHALT解除後にサブ・システム・クロックの1クロック分、ウエイトが入りません。

- ・ **ポート／セグメント切り替えマスク・オプションのエミュレーション仕様**

ポート・ファンクション・レジスタ(PF7,PF8)を設定してもポート／セグメント切り替えが行えません。

ポート・ファンクション・レジスタ(PF7,PF8)の変更に加えてIE-789488-NS-EM1のSW8~19の設定を実施して下さい。

なお、SWの設定は、3.6.2 ポート／セグメント切り替えのマスク・オプション(1)ポート／セグメント端子切り替えを参照して下さい。

- ・ **μPD78948xエミュレーション時のLCD機能仕様(1)**

LCD表示モードレジスタ0、LCDM0BIT6(VAON0)、アクセス可能ですが有効になりません。9489モード(J9:2-3)設定により昇圧動作許可になります。ジャンパの設定は、3.3.1 8 ブシリーズ選択のジャンパ設定参照して下さい。

- ・ **μPD78948xエミュレーション時のLCD機能仕様(2)**

LCD昇圧制御レジスタ0、LCDVA0BIT0(GAIN)、アクセス可能ですが有効になりません。常にSW4(LCDパネル電圧設定)の設定で選択した電圧が常にパネル電圧になります。SWの設定は、3.3.2 μPD789489 ブシリーズのLCDエミュレーション設定を参照して下さい。

以上